

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)年度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R3年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開	
	1	2	3												
111	1	1	1	特産品開発及び農業の6次化研修事業	商工観光G	1件	特産品の開発	累計5品以上	累計10品以上	0件	継続	3件	継続	①上川町商工会で実施した「むらおこし総合活性化事業」において、新たに地場産品を活用した特産品開発が図られた。 ・酒粕らーめん ・くま笹チャイ ・エナジーボール ②上川町商工会と連携し特産品開発を進めるとともに、既存商品のPR支援を実施する。	
112	2	1	1	2	事業承継・新規開業支援補助の推進事業	商工観光G	4件	新規開業者数	累計5件	累計10件	5件	継続	3件	継続	①評価項目の要因 事業承継・新規開業支援補助事業や包括連携協定、地域おこし協力隊の取組み等により、新規開業者数が向上している。 ②今後の展開 事業承継・新規開業支援補助事業の周知を図るとともに、町内事業所の事業承継や新規開業者への支援による産業の活性化を図る。
113	3	1	1	3	企業誘致条例による企業誘致の推進	地域魅力創造G (旧企画G)	0件	新規開業者数	新規開業者数 5件	新規開業者数 10件	5件	継続	3件	継続	①評価項目の要因 上川町の施策に係る新規開業者が3件増えている。 事業承継・新規開業支援補助事業や包括連携協定、地域おこし協力隊の取組み等により、新規開業者数が増えている。 ②今後の展開 企業誘致条例などの開業を後押しできるような支援内容の周知を積極的に実施したい。
114	4	1	1	4	地熱・温泉資源活用の推進	地域魅力創造G (旧企画G)	0件	再生可能エネルギー 利活用事業	再生可能エネルギー 利活用事業 累計 1件	再生可能エネルギー 利活用事業 累計 2件	0件	継続	1件	継続	①評価項目の要因 層雲峡キャンプ場の整備が令和元年度から始まっており、環境に配慮した再生可能エネルギー(バイオマスボイラー)の導入を実施した。 ②今後の展開 カーボンニュートラルをめざし、今後SDGsなどと連動させた地球温暖化計画の更新を検討していく。
121	5	1	2	1	観光振興の充実事業	商工観光G	499,432人	宿泊者数	宿泊者数 年間65万人	宿泊者数 年間70万人	157,639人	継続	152,944人	継続	①評価項目の要因 新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が大きく減少した。 ②今後の展開 アフターコロナに向けた国内外の観光プロモーションを層雲峡観光協会や旭川誘致協、大雪カムイミタラDMO等と連携強化し、国内外の観光客誘致を図る。
							157,198人	外国人観光客 宿泊者数	年間25万人	年間30万人	49人	継続	54人	継続	①評価項目の要因 新型コロナウイルス感染症の影響により海外渡航禁止等の措置が講じられている。 ②今後の展開 渡航規制緩和状況により、層雲峡観光協会や旭川誘致協等と連携し、台湾AGTへのプロモーションや、広告宣伝等を行い、外国人観光客の誘客を図る。
							52.7%	層雲峡温泉客 室年間稼働率	65.0%以上	67.0%以上	17.1%	継続	16.3%	継続	①評価項目の要因 新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が大きく減少した。 ②今後の展開 アフターコロナに向けた国内外の観光プロモーションを層雲峡観光協会や旭川誘致協、大雪カムイミタラDMO等と連携強化し、国内外の観光客誘致を図る。
121	6	1	2	1	官民連携による重点地区国内外プロモーション事業	商工観光G	1,586,501人	観光客数	年間 180万人	年間 190万人	548,395人	継続	423,913人	継続	①評価項目の要因 新型コロナウイルス感染症の影響により観光需要が大きく減少した。 ②今後の展開 重点的にプロモーションすべき地区として設定した国内外の主要都市等で観光プロモーションを官民一体(行政、観光協会、観光事業者等)で連携して実施する。

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)年度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R3年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開	
	1	2	3												
121	7	1	2	1	情報配信システム整備事業 (WiFi整備)	地域魅力創造G (旧情報防災)	0箇所	Wi-Fi設置数	3か所増(7か所→10 か所)	5か所増(7か所→12 か所)	4箇所	継続	4箇所	継続	①評価項目の要因 R3年度の新規設置はなし ②今後の展開 本年(R4)度にかみんぐホールにWi-Fi環境を設置したため、KPI 達成。Wi-Fiと合わせてデジタルサイネージの設置の検討を進め たい。
121	1	2	1	大雪カムインタラDMOによる都市 型スノーリゾート地域構築事業	地域魅力創造G (旧移住定住G)	1,504千泊	DMO圏域観光 宿泊延数(千泊)	年間1,910千泊 ※R2目標	-	現在、DMOで集 計中	評価不能	R2で事業終了			
						352千泊	DMO圏域冬季 12月～3月観光 宿泊延数(千泊)	年間520千泊 ※R2目標	-	現在、DMOで集 計中	評価不能				
						68千円	旅行消費額(千 円/人)	48千円 ※R2目標	-	現在、DMOで集 計中	評価不能				
121	8	1	2	1	「北海道の自然・食・文化を活かし たコンテンツ創出」×外国人の活躍 ～稼ぐ観光の実現～	地域魅力創造G (旧移住定住G)	104,984円	外国人観光客 (新千歳空港入 国)旅行消費単 価	107,062円 ※R3目標	-	現在、道庁担当 課で集計中	評価不能	感染症の影響により 数値の基となる観光庁調査が 未実施のため、測定不可	評価不能	①連携企業と協力してツアーデスク開設などを行った。ATWSがオン ライン開催となったことからプロモーションは十分な結果が得られ なかった。 ②交付金宇義用としては完了するが、AT関連事業は地域DMC大 雪山ツアーズが引き続き推進。
							2,722,587人	欧米豪・中国か らの来道者の延 べ宿泊数	3,630,117円 ※R3目標	-	現在、道庁担当 課で集計中				
122	9	1	2	2	新規就農者誘致特別措置奨励金 事業	農林水産G	5人	新規就農者	累計 5人	累計 8人	0人	継続	5人	達成	①評価項目の要因 法人の構成員としての新規就農者が多くいたため。後継者は変わ らず不足しており、個人として新規就農者はいない。 ②今後の展開 今年度から制度を刷新し、雇用者を含めた新規就農者に支援の 幅を広げることで、農業者の呼び込みと定着を図る。
123	10	1	2	3	森林資源有効活用事業	農林水産G	1人	林業関連就業者数	累計5人	累計10人	3人	継続	0名	継続	①評価項目の要因 従事者については、定着が課題 ②今後の展開 林業の新たな仕事づくりを行い、魅力化を行う
							4施設	バイオマスボイ ラー導入施設	3施設増加 (累計7施設)	5施設増加 (累計9施設)	0施設	継続	0施設	継続	①評価項目の要因 バイオマスボイラーのインシヤルコストが高価 木材価格の高騰による燃料高騰②今後の展開 関係各所への強 力依頼
124	11	1	2	4	おもてなし推進事業	地域魅力創造G (旧企画G)	1,586,501人	観光客数	年間180万人	年間190万人	548,395人	継続	423,913人	継続	①評価項目の要因 町内事業者向けのおもてなし研修を層雲峡会場と役場会場の2箇 所で実施し、ホテル関係者も出席できるように開催方法の工夫をし た。 ②今後の展開 今後は、町内事業者向けの研修を隔年開催も視野にいれて検討 していきたい。
211	2	1	1	トライアル移住とローカルベン チャー支援を核にした移住定住促 進プロジェクト	地域魅力創造G (旧移住定住G)	-	年間社会増減 数(人)	0人 ※R2目標	-	-70人	継続	R2で事業終了			
						-	商品開発・実証 活動等に対する 支援業務を活用 して町内へ移住 した人数(人)	累計24人 ※R2目標	-	累計19名	継続				
						-	週末移住活動 拠点施設を利用 して週末移住を 実践した人の延 べ人数(人)	年間800人 ※R2目標	-	504人	継続				

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R3年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開	
211	2	1	1	トライアル移住とローカルベンチャー支援を核にした移住定住促進プロジェクト	地域魅力創造G (旧移住定住G)	—	本事業を通じた新たなビジネス創出件数(件)	累計5件 R2目標	-	累計10件	継続	R2で事業終了			
						169件	移住相談件数	累計50件	累計100件	84件	継続				
						未実施	ちよつと暮らし体験施設利用件数	累計25件	累計40件	1件	継続				
						—	サテライトオフィス等利用企業件数	累計10件	サテライトオフィス等利用企業件数累計20件	0件	継続				
211	12	2	1	1	世界に誇る通年型山岳リゾートタウン実現プロジェクト	671千円	上川町版DMOにおける旅行商品等売上収入額(千円)	年間30,500千円 ※R4目標	-	7,375千円	継続	2,019千円	継続	①新型コロナウイルスの影響で入込減少が続いているが、体験コンテンツの開発など回復時を見据えた取り組みに注力 ②企業連携等により質の高い体験コンテンツ開発などに注力する。	
						3,119人	アウトドア拠点施設(町有キャンプ場)の利用者数(人)	年間11,000人 ※R4目標	-	3,343人		6,097人	継続		
						15.7万人	上川町内における外国人宿泊客数(万人)	年間27万人 ※R4目標	-	0.005万人		54人	継続		
						34.3万人	上川町内における国内宿泊者数(万人)	年間44.6万人 ※R4目標	-	16.5万人		152,944人	継続		
212	13	2	1	2	就業支援事業	地域魅力創造G (旧移住定住G)	—	無料職業紹介所マッチング件数	年間2件	年間2件	1件	継続	実績値0件	継続	①求職に関する問い合わせについては、複数名から問い合わせがあったが、勤務形態に対する要望事項が多く、マッチングに至らなかった。また、無料職業紹介所を経由せず、町外の求職者が自力でマッチングに至ったケースを多々伺った。 ②求人情報を掲載したパンフレットでの周知に加え、職場で生き生きと働く方を紹介するパンフレットを制作し、やりがいのある職場・職種があることを周知宣伝する。
213	14	2	1	3	生涯学習事業	社会教育G	—	公民館講座開設数	14講座	17講座	4講座 6回開催	評価不能	7講座 11回開催	評価不能	①評価項目の要因 新型コロナウイルス感染症による事業縮小 ②今後の展開 感染症対策を実施しつつ、感染リスクが少ない事業構築。
							—	公民館講座参加延べ人数	200人	200人	延べ110人	評価不能	延131人	評価不能	

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R3年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開	
221	15	2	2	1	空き家・空き家バンク情報発信事業	地域魅力創造G (旧移住定住G)	5件	不動産物件情報登録件数	年間5件	年間5件	8件	継続	6件	継続	①例年同様に税務の情報を活用し、物件の所有者に向けた文章を年2回発送した。前年度同様に固定資産税の発布時期と重ねて文書発送したことが、目標値達成の要因とみられる。 ②継続して空き家調査及び年2回程度の文章発送を行いつつ、旭川宅建協会と連携して空き家情報の登録・売買の促進を行っている。
222	16	2	2	2	空き家改修支援事業・住宅建築促進支援事業	地域魅力創造G (旧移住定住G)	9件	空き家改修支援・住宅建築支援件数	年間5件	年間5件	4件	継続	3件	継続	①空き家バンクに登録された物件の改修費及び新築に係わる工事費用について補助金を交付している。木材不足による建築費用の高騰や新型コロナウイルス感染症による消費の落ち込みが目標値に満たなかった要因とみられる。 ②両事業とも継続してHP・移住イベント等での周知を行う。空き家改修支援事業補助金については、併せて空き家バンク登録者及び仲介業者への周知を行う。
223	17	2	2	3	リフォーム補助事業	建設管理G	50	リフォーム補助件数	年間23件	年間23件	22	継続	23件	継続	①評価項目の要因 昨年度と比較し、1件増加した。事業実施から10年経過し、広く認知され、事業活用を検討する町民からの問い合わせ等の件数も多く、今後も増加が見込まれる。 ②今後の展開 解体、浄化槽、融雪槽、エコ・バリアフリーなど新エネルギーを中心とした事業への関心の高まりもあることから、今後、補助対象リフォーム等の各内容等の見直しを検討し、地域環境の整備、住宅環境、雪対策の向上、経済の振興を図る。
231	18	2	3	1	サテライトオフィス等誘致事業	地域魅力創造G (旧移住定住G)	—	サテライト・オフィス等利用企業件数	累計10件(年平均2件)	累計20件(年平均2.5件)	0件	継続	PORTOにおける年間バス利用企業数1件(環境省)	継続	①交流スペースPORTOの開設により、町内外からの訪問者が立ち寄るスペースとして、確立しつつある。KPIにおける利用企業件数は1件であるが、企業単位ではなく、企業の従業員やフリーランスとして、活用されるケースが多い。②広く開かれた交流拠点となるべく、町外者の利用に加え、町内の学生や高齢者にも活用される拠点づくりを進めていく。
232	19	2	3	2	上川町ふるさと応援寄付事業	地域魅力創造G (旧企画G)	1,673件	ふるさと納税寄附件数	年間 1,500件	年間 1,800件	4,392件	達成	4,125件	達成	①評価項目の要因 令和2年度同様、はちみつと純米神川の四合瓶セットが人気であった。特に主力商品のはちみつについては、オリジナルスプーンのセットを返礼品化し、今までのさとふる(サイト)以外にもさとふるさとチョイスのサイトにおいても返礼品を取り扱うようになり、各サイトのユーザーの拡大及び寄附につながった。 ②今後の展開 今後も継続してさとふるの冊子やポスターの作成及び大雪山レーベル(特産品特設サイト)などの媒体を活用し、より目に留まるようなさとふる等の宣伝の検討や関係人口創出のために上川町の返礼品だけではなく事業者にもスポットをあてたPRを実施していきたい。
311	20	3	1	1	安心して出産するための支援事業	健康増進G	100%	①妊産婦健康診査の受診率	90%以上	90%以上	100%	継続	100%	継続	①評価項目の要因:妊産婦健診を必要な時期に利用しているかを評価。 ②今後の展開:個々の妊娠届出週数や産院によって受診回数に差はあるが、全員が必要な受診間隔で受診している現状なので、これを維持する。
							100%	②妊産婦交通費助成の利用率	100%	100%	100%	継続	100%	継続	①評価項目の要因:妊娠中・産後を通じ、受診回数に応じて妊産婦が助成事業を活用しているかを評価。 ②今後の展開:健康相談・訪問を通じ申請を促し、全妊産婦が申請している現状なので、これを維持する。

番号	施策番号				事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)年度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R3年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
311	21	3	1	1	子ども医療費助成事業	医療給付G	H31 19人	年間出生数	累計110人	累計194人	14人	継続	11人	継続	①評価項目の要因 子ども医療費助成事業の有無によらず、生産人口の転出や子どもの 出産ができる世帯・年代の人口が少ないことが出生数の減と なっている。 ②今後の展開 事業の継続と移住定住の政策により、生産人口の増加及び子ども の出産ができる世帯・世代の人口を増加を図る
							H27 357人	年少人口	330人(国調)	330人(国調)	R2国調数値 未公表	継続	263人(国調)	継続	①評価項目の要因 子ども医療費助成事業の有無によらず、生産人口の転出や子ども の出産ができる世帯・年代の人口が少ないことが出生数の減と なっている。 ②今後の展開 事業の継続と移住定住の政策により、生産人口の増加及び子ども の出産ができる世帯・世代の人口を増加を図る
							263人	年少人口	328人(年度末住 基)	345人(年度末住 基)	244人(年度末住 基)	継続	235人(年度末住基)	継続	①評価項目の要因 子ども医療費助成事業の有無によらず、生産人口の転出や子ども の出産ができる世帯・年代の人口が少ないことが出生数の減と なっている。 ②今後の展開 事業の継続と移住定住の政策により、生産人口の増加及び子ども の出産ができる世帯・世代の人口を増加を図る
311	22	3	1	1	出産祝い品贈呈	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間平 均22人)	累計 194人(年間平 均23.6人)	令和2年度出生 数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	①評価項目の要因 出産等に係る支援制度の取り組みを引き続き推進することで、上 川町での出産・子育て環境の魅力創出につながる。 ②今後の展開 町産の木材を活用した祝品など、関係各課と連携し、町に由来す る新しい出産祝品の検討を行う。
							263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度末住 基)	継続	235人(年度末住基)	継続	
311	23	3	1	1	出産祝金の贈呈	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間平 均22人)	累計 194人(年間平 均23.6人)	令和2年度出生 数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	①評価項目の要因 出産等に係る支援制度の取り組みを引き続き推進することで、上 川町での出産・子育て環境の魅力創出につながる。 ②今後の展開 第3子に対し祝い金100千円を支給。
							263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度末住 基)	継続	235人(年度末住基)	継続	
312	24	3	1	2	施設型給付事業	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間平 均22人)	累計 194人(年間平 均23.6人)	令和2年度出生 数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	①評価項目の要因 ・子育て世代の経済負担である保育料等の軽減を図ることで、上 川町での子育て環境の魅力創出につながる。 ②今後の展開 ・R6年度まで引き続き財政支援を継続。 ・R7年度より認定こども園開設予定のため、併せて私立幼稚園が 閉園予定
							263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度末住 基)	継続	235人(年度末住基)	継続	
312	25	3	1	2	一時預かり運営事業	介護福祉G	19人	年間出生数	累計 110人(年間平 均22人)	累計 194人(年間平 均23.6人)	令和2年度出生 数 14人	継続	令和3年度出生数 10人	継続	①評価項目の要因 ・子育て世代の経済負担である保育料等の軽減を図ることで、上 川町での子育て環境の魅力創出につながる。 ②今後の展開 ・R6年度まで引き続き財政支援を継続。 ・R7年度より認定こども園開設予定のため、併せて私立幼稚園が 閉園予定
							263人	年少人口	328人(年度末住基)	345人(年度末住基)	244人(年度末住 基)	継続	235人(年度末住基)	継続	
313	26	3	1	3	上川ジャンプアップひろば・地域未 来塾事業	社会教育G	—	学習支援の提供	年間7日間開催	年間7日間開催	1日間開催	評価不能	5日間の開催	評価不能	①評価項目の要因 新型コロナウイルス感染症による事業縮小 ②今後の展開 感染症対策を実施しつつ、感染リスクが少ない事業構築。
							—	参加者延べ人数	学習支援参加者数 延170人の参加	学習支援参加者数 延170人の参加	17人参加	評価不能	207人参加	評価不能	

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R3年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開	
314	27	3	1	4	上川高校魅力活性化事業	地域魅力創造G (旧企画G)	37人	上川高校の入学者数	毎年20人以上	毎年20人以上	17人	継続	14人	継続	①評価項目の要因 私立高校の無償化の影響で、入学生として多かった旭川近郊の生徒たちが減少したことが要因として大きい。 ②今後の展開 令和2年度末から「上川高校魅力プロジェクト」を実施し、上川高校の魅力発信に向けて「上川高校×地域」をテーマに地域住民から可愛がられる上川高校生をめざしていく。
321	28	3	2	1	結婚支度金支給事業	地域魅力創造G (旧企画G)	0件	年間婚姻数	年間婚姻数累計100件(年間平均20件)	年間婚姻数累計160件(年間平均20件)	9件	継続	8件	継続	①評価項目の要因 上川町に住民票があつて婚姻届けを提出した方を対象とした。昨年同様に上川町内における生産人口が少ないため、結婚数の減とつながっている。 ②今後の展開 上川町独自の結婚支援金制度など結婚を後押しできる施策の検討が必要。
322	29	3	2	2	出会いの場の創出事業	地域魅力創造G (旧企画G)	0回	出会いの場の創出	年に1回交流会を開催	年に1回交流会を開催	0回	継続	0回	継続	①評価項目の要因 新型コロナによる食事等の自粛により開催を見送りました。 ②今後の展開 町外出身者が求めることとして、結婚相手を探すよりもまずは知人として共通の趣味でつながりたい意向が強い傾向にあるので、今後は異性の出会いの場のみならず多種多様にコミュニティを形成する場の創出を検討する。
411	30	4	1	1	産業振興支援補助の推進事業	商工観光G	2件	産業振興補助の活用者数	累計5件	累計10件	3件	継続	8件	継続	①評価項目の要因 町内事業所に対する事業に要する設備投資へ助成措置を行い地域経済の発展及び産業の振興に寄与している。 ②今後の展開 産業振興補助事業の周知を行うとともに、町内事業所に対する事業に要する設備投資へ助成措置を行い、地域経済の発展及び産業の振興を図る。
412	31	4	1	2	上川町マスコットキャラクター情報発信事業	地域魅力創造G (旧企画G)	1,858人 ※R2年10月	Twitter登録人数	2,420人(※R2年10月1,858人)	2,800人(※R2年10月1,858人)	2314人 フォロワー (※R3年8月13日時点)	継続	2,767人 (R4年10月17日時点) 453人増※前年度比	達成	①評価項目の要因 前年度に比イベントや行事等の開催が増えており、SNSの発信の機会が増えていることが一因としてある。さらに発信媒体毎にユーザーが存在しており、色々な媒体から発信することにより、多くのユーザーに周知することが出来ている。令和3年度からはLINEの運用も始まり、町のイベント情報をはじめ生活に関連する情報の発信もできるようになり、多くのユーザーがリアルタイムに情報を受け取る機会が増えている。 ②今後の展開 どの世代がどのような情報を求めているかなど発信する情報の整理とどの媒体を使って発信をしていくのかマーケティングを実施していきたい。
							559人 ※R2年10月	Facebook登録人数	730人(※R2年10月559人)	850人(※R2年10月559人)	582人 フォロワー (※R3年8月13日時点)	継続	1,104人 (R4年10月17日時点) 522人増※前年度比	達成	
							331人 ※R2年10月	Instagram登録人数	430人(R2年10月331人)	500人(R2年10月331人)	388人 フォロワー (※R3年8月13日時点)	継続	1,539人 (R4年10月17日時点) 1,151人増※前年度比	達成	
							0人 ※R3年	LINE登録人数 (上川町公式LINE)	2,475人(R4年10月1,904人)	2,856人(R4年10月1,904人)	新規	—	1,904人 (R4年10月17日時点)	継続	
412	32	4	1	2	花いっぱい会交付金事業	地域魅力創造G (旧企画G)	158事業所	商工会会員数	商工会会員数161事業所維持	商工会会員数161事業所維持	商工会会員数154事業所	継続	商工会会員数 152事業所	評価不能 ※令和3年度で解散のため、令和4年度は評価対象外	①評価項目の要因 団体の人数減少により、会の存続が厳しくなり、令和3年度に解散をした。 ②今後の展開 —
413	33	4	1	3	いきいきセンターたいせつの絆の利用促進	介護福祉G	171事業所	商工会会員数	商工会会員数161事業所維持	商工会会員数161事業所維持	商工会会員数154事業所	継続	商工会会員数 152事業所	継続	①評価項目の要因 多世代の人々が活用することにより、市街地の賑わいの醸成につながる。 ②今後の展開 いきいきセンターたいせつの絆の利用促進を図る。
414	34	4	1	4	公共施設等の適正な維持管理	財政G	80,629㎡	施設保有面積	73,372㎡ 9%の削減(7,257㎡の減)	69,341㎡ 14%の削減(11,288㎡の減)	80,531㎡	継続	81,054㎡	継続	①層雲峡インフォメーションセンター(680.75㎡)譲受による増 ②各施設計画の見直しを図り、引き続き削減に努める。

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31 年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R3年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開	
421	35	4	2	1	災害情報伝達設備整備事業	地域魅力創造G (旧情報防災)	0団体	被災による死傷者数	年間0人	年間0人	0人	継続	0人	継続	①評価項目の要因 R3年度の死者なし ②今後の展開 今後も防災無線を活用した訓練を実施し、安心安全なまちづくりを行ってきた。
								災害協定締結数	20団体	20団体	20団体	継続	21団体	継続	①評価項目の要因 北海道電力ネットワーク株と協定を締結 ②今後の展開 今後もステークホルダーとの顔の見える関係性を構築していきたい。
422	36	4	2	2	後期高齢者における総合的な保健事業	健康増進G	20.00%	健康診査受診率	18%以上	20%以上	17.77%	継続	18.87%	継続	①評価項目の要因:前年の丁寧な保健指導により受診率が向上した ②今後の展開:健康診査受診率20%以上
423	37	4	2	3	訪問診療体制整備事業	医療事務G	0件	訪問診療希望に対する未提供件数	未提供件数 年間0件	未提供件数 年間0件	0件	達成	未提供件数 年間0件	達成	①評価項目の要因 令和3年度の訪問診療は142人、訪問看護と訪問リハビリは該当なしであった。訪問診療が前年度より大きく伸びている。 ②今後の展開 未提供件数年間0を目指すとともに現行体制を継続する
424	38	4	2	4	地域公共交通事業の推進	地域魅力創造G (旧企画G)	2,777人 ※令和元年 10月～	コミュニティバス利用者数	年間4,000人	年間4,000人	4,698人	達成	4,882人	達成	①評価項目の要因 昨年度同様「火曜日」と「金曜日」の乗車が多い現状と「大雪の絆」前での乗降者が多い現状を考えると「大雪の絆」の利用者がコミュニティバス利用者数に影響している。 ②今後の展開 コミュニティバスは市街地の交通対策なので今後周辺地区の交通対策も検討していきたい。
424	39	4	2	4	高齢者タクシー料金等助成事業	介護福祉G	18.83%	要支援・要介護認定者の介護保険被保険者数割合(年度末)	19.00%	19.00%	19.80%	継続	20.19%	継続	①評価項目の要因 高齢者が引きこもりがちにならないよう、また高齢者の社会参加や健康増進、生きがいのある生活の一助となるよう継続とし、さらなる介護予防を図っていく。 ②今後の展開 引き続き上記のための交通手段の確保として、継続して事業を実施していく。周辺地域の交付額算定については、公平性の確保の観点から内容について協議する。
431	40	4	3	1	高齢者等間口除雪事業	建設管理G	80件	高齢者等間口除雪事業件数	年間80件	年間80件	75件	継続	78件	継続	①評価項目の要因 平成30年度から高齢者の対象年齢を80歳から75歳以上へと変更しているが、申請件数が若干増加し続けて75歳以上対象となる世帯が増えている。 ②今後の展開 令和4年度も、75歳以上を対象年齢とし、世帯件数の増加を図る。
431	41	4	3	1	高齢者等屋根雪下ろし事業	介護福祉G	198件	除排雪費用助成対象件数	200件	200件	204件	継続	201件	継続	①評価項目の要因 自力で屋根の雪下ろしをすることが困難な方が、町で安心して暮らせるよう本事業を活用していただくべく、引き続き利用件数により評価する。 ②今後の展開 自力で屋根の雪下ろしをすることが困難な方が、町で安心して暮らせるよう継続して事業を展開する。また、委託業者の人手不足等の課題については引き続き協議する。
432	42	4	3	2	リフォーム補助事業(融雪槽)	建設管理G	50件	リフォーム補助件数	年間23件	年間23件	0件	評価不能	0件	評価不能	①評価項目の要因 評価不能 ②今後の展開 リフォーム補助に一括した事業となつてから(H24)合計で5件の申請しかなく、単独の評価は難しい。 再度制度の周知を図る。
441	43	4	4	1	し尿等一般廃棄物区域外処理事業	住民G	搬入率 100%	連携事業数	20事業	20事業	搬入率 100% (773,300ℓ)	継続	達成率 94.9% (1,159KL)	継続	①評価項目の要因 し尿の収集は町内業者が請け負い、し尿・汚泥の浄化処理を旭川環境センターで行っている。 ②今後の展開 下水道への接続及び浄化槽の設置を推進することでし尿の収集量を減らし、衛生的な生活環境を実現する。

番号	施策番号			事務事業名	担当グループ	基準年 (令和元(H31年)度数値)	KPI項目	KPI(第1期) 第2期5年目 令和6年度目標値	KPI(第2期) 第2期最終年 令和9年度目標値	R2年度 KPI実績値	R2年度 評価項目	R3年度 KPI実績値	R3年度 評価項目	R3年度 ①評価項目の要因 ②今後の展開
441	44	4	4	1	愛別町外3町塵芥処理組合事業	住民G	搬入率 100%	20事業	20事業	搬入率 100% (1,658,820kg)	継続	達成率 97.7% (133万kg)	継続	①評価項目の要因 愛別町外3町で構成する組合で町内のゴミ処理について、広域で処理を行っている。 ②今後の展開 ・今後も事業を継続する中で、プラスチックごみの分別、再利用等の取り組みを進め、一般廃棄物の抑制に努める。 ・ゴミ処理施設の延命化工事を年次計画的に実施する。
442	45	4	4	2	ブロードバンド整備事業	地域魅力創造G (旧情報防災)	0地区	1地区増加	3地区増加	0地区	継続	8地区	達成	①評価項目の要因 越路、菊水、清川、天幕、東雲、日東、白川、豊原の8地区に導入 ②今後の展開 ブロードバンドサービスを活用し、効果的な情報発信等を検討していきたい。

令和2年度		令和3年度	
分類コード	34種類	分類コード	34種類
事業数	47種類	事業数	45種類
KPI項目	74種類 (70)種類	KPI項目	65種類

	令和2年度	令和3年度	増減(R3-R2)	備考
達成	3項目	8項目	5項目増	No.10新規就農者誘致特別措置奨励金事業 No.21上川町ふるさと応援寄付事業 No.33上川町マスコットキャラクター情報発信事業(3項目) No.39訪問診療体制整備事業 No.40地域公共交通事業の推進 No.47ブロードバンド整備事業
継続	61(58)項目	49項目	12項目減	
評価不能	10(9)項目	8項目	2項目減	
(新規追加)	—	(1項目)	1項目増	No.33上川町マスコットキャラクター情報発信事業(1項目) ※LINE登録者数
(事業終了)	—	(10項目)	10項目減	No.8大雪カムイミタラDMOによる都市型スノーリゾート地域構築事業 No.13トライアル移住とローカルベンチャー支援を核にした移住定住促進プロジェクト
KPI合計	74(70)項目	65項目		

※昨年度から標記方法を一部修正 ()内数値は、昨年度報告